

第47回 日本鼻科学会総会・学術講演会

第44回 鼻科学基礎問題研究会

第37回 鼻科学臨床問題懇話会

プログラム

会期 平成20年 9月25日(木)、26日(金)、27日(土)

会場 名古屋国際会議場

名古屋市熱田区熱田西町1番1号
Tel: 052-683-7711 Fax: 052-683-7777

会長 内藤健晴 (藤田保健衛生大学)

第 47 回日本鼻科学会総会 ならびに学術講演会

平成 20 年 9 月 26 日(金), 9 月 27 日(土)
会 場 : 名古屋国際会議場

第 44 回鼻科学基礎問題研究会
第 37 回鼻科学臨床問題懇話会

会 期 : 平成 20 年 9 月 25 日(木)
会 場 : 名古屋国際会議場

会 長 : 内藤 健晴

藤田保健衛生大学 医学部 耳鼻咽喉科

ごあいさつ

「この学会に来れば、鼻科学の今が分かる」

藤田保健衛生大学 医学部 耳鼻咽喉科

会長 内藤 健晴

まずはじめに、第47回日本鼻科学会総会ならびに学術講演会を開催するにあたり、ご支援をいただきました竹中 洋 理事長はじめ理事、評議員、会員の方々に心から感謝いたします。特に、洲崎春海 前理事長および前理事の皆様方には、担当するに際しまして格別のご厚情を賜りましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。

本会のテーマを「鼻科学の過去－現在－未来」と題して企画しました。会期中のどこでそれを感じていただくかは、参加された先生方にお任せすることにして、もう一方のサブテーマを「心－地球－宇宙」とし、当学会が単に鼻科学領域の最先端を供覧するだけの場に留まらないような空間としたいと考えました。その詳細については、後ほど紹介いたします。

さて、学会前日の9月25日（木）に開催される第44回鼻科学基礎問題研究会は、川内秀之先生（島根大）と藤枝重治先生（福井大）の司会の下「鼻・副鼻腔粘膜の炎症病態の基礎的解明と将来的展望」というテーマで、第一線のシンポジストを揃えていただき、ともすると臨床家が敬遠しがちな鼻科領域の基礎研究が、「かくも素晴らしいものであるか」ということを一般の鼻科学会員に存分に披露していただくことにいたします。この企画を皮切りに、華々しく本学会の幕開けとしたいと思います。

次いで第37回鼻科学臨床問題懇話会は、山中 昇 先生（和医大）と黒野祐一先生（鹿児島大）の司会の下「副鼻腔炎遷延化・難治化の最近の問題」というテーマで、過去とは異なっている副鼻腔炎の難治化要因を洗い出し、現在ある種々の副鼻腔炎の疾患概念についても整理していただき、可能であれば、適切な治療法にまで迫っていただけることを会員ともども期待しております。

その後のスポンサードレクチャーでは、森山 寛 先生（慈恵医大）の司会で、サンパウロ連合大耳鼻咽喉科教授の Aldo Stamm 先生に「Our Experience on Transnasal Endoscopic Skull Base and Brain Surgery－Endoscopic Transnasal Craniectomy (ETC)」というタイトルで、動画を中心に講演いただきます。鼻内視鏡手術の所見としては、会員の皆様には驚くべきシーンを目にするでしょう。そして、鼻内視鏡の持つ

ポテンシャルについて「天地がひっくり返るような衝撃」を受けることと思います。

翌26日(金)、27日(土)の2日間で学会は開催されます。学会会期中の特別企画につきましてご紹介いたします。

特別講演は長谷川 誠 先生(東京医科歯科大)の司会で、長年、国際鼻腔通気度委員長を務めてこられた Peter Clement 先生(ブリュッセル自由大耳鼻咽喉科前教授)に「Rhinomanometry: Physics, Different Techniques and Clinical Usefulness」というタイトルで鼻腔通気度測定法の歴史と今後の展望について国際的な見地からのご講演をいただきます。

日韓交流行事として、招待講演は、Seon-Tae Kim (Gachon 大)に「The Effect of Asian Sand Dust in Airway Epithelium and Allergic Mouse Model」というタイトルで洲崎春海先生(昭和大)の司会で行います。日韓セッションは、Tae-Young Jang 先生(Inha 大)の司会で、Bong-Jae Lee 先生(Asan Medical Center)と鴻 信義先生(慈恵医大)の演者で「Any Differences about Septoplasty between Japan and Korea?」というテーマで鼻中隔矯正術について両国の相違について議論をしていただきます。

シンポジウム I では、大木幹文先生(東邦大大橋病院)と加瀬康弘先生(埼玉医大)の司会の下「鼻腔通気度測定の最近の進歩ー普及をめざしてー」というテーマで、日本国内での鼻腔通気度測定法の使用普及に向けて、保険適応疾患名を意識して行っていただきます。シンポジウム II は岡本美孝先生(千葉大)と増山敬祐先生(山梨大)の司会の下「アレルギー性鼻炎治療の最前線：現状と今後の展望」というテーマで、現在、鼻アレルギー治療のガイドラインはあるものの、日進月歩の科学技術の進歩に伴う最新の治療法について、改めてまとめていただきます。

パネルディスカッション I では、岸本誠司先生(東京医科歯科大)と櫻井一生先生(藤田保健大)の司会の下「鼻副鼻腔悪性腫瘍の治療法選択における論点」というテーマで、パネルディスカッション II では、阪上雅史先生(兵庫医大)と井之口 昭 先生(佐賀大)の司会の下「嗅覚障害に関する研究の最先端」というテーマで、パネルディスカッション III では、友田幸一先生(関西医大)と春名眞一先生(独協医大)の司会の下「内視鏡鼻科手術支援機器はどこまで進歩したか」というテーマで、それぞれ、鼻科学の現状と将来について存分に議論していただきます。

また、ワークショップでは、竹中 洋 先生(大阪医大)の司会の下「花粉曝露実験の現状と問題点」というテーマで、野外花粉曝露試験の実態と現在国内にいくつかある花粉曝露室の特徴と有用性について紹介していただく予定です。

ランチョンセミナーも第1日目、2日目それぞれ3題、どこの会場で昼食をとるのか迷うほど鼻科学にとって重要なテーマで企画しておりますので、学会会場でのお昼を存分に楽しんでください。

このように特別プログラムを鋭意準備してまいりましたが、学会の中心は、何と言って

も一般演題発表とその質疑応答にあります。ちょうど名古屋国際会議場は、名古屋市の中心にありながら、比較的、誘惑から遠のいた環境にありますので、学術行事に充分集中していただけるものと思います。どうか、熱心な討議をお願いいたします。

さて、私たち耳鼻咽喉科医は医師であり科学者ですが、一人の人間でもあります。ただ遮二無二に医学の進歩を追求し、その功績を誇るだけではなく、人間の健全な生活を地球規模で考える場にしたいとも考えております。そこで、私たち人間も、この地球という美しい惑星の上に棲息する数多くの生物のほんの一つに過ぎないということを自覚していただくために、本学会会期中、会場の一部に「地球への憧憬」というテーマでフォトギャラリーを常設し、この惑星を愛しむ心と呼び覚ましていただけるようお願いしております。これらの素晴らしい写真は、長年の友人でカナダの野生動物写真家である Albert Kuhnigk 氏と、日本からは耳鼻咽喉科医師のなかでも卓越した写真家である小松崎 篤 先生、村上 泰先生、坂倉康夫先生の3氏から供出いただきました。必ずしや皆様の心に何かを残すことでしょう。さらに、会場では写真の展示だけに限らず、さらに多くの作品をスライドショーとして上演する予定でおります。どうか、ご期待ください。学会で討論に疲れたときには、フォトギャラリーやスライドショーで一旦、頭を休めていただき、新たな討論への鋭気を養ってください。

この学会のサブテーマが、ここに込められており、会場に来ていただけたことが、心温まる人間としての医師生活を続けていく糧になることを切望しております。

何しろ、私が教授に就任してから教室にとっては初めての大きな学術イベントです。

慣れない点も多く、ご迷惑をかけることばかりであろうと存じますが、教室員・同門会員一同、誠心誠意これに当りますので、どうかご寛容な心で、ご容赦いただければと存じます。

皆様には、どうぞ、第47回日本鼻科学会総会・学術講演会を心からお楽しみください。

第 47 回日本鼻科学会学術講演会のご案内

第 47 回日本鼻科学会総会ならびに学術講演会を下記により開催いたします。

1. 会期：平成 20 年 9 月 25 日（木）26 日（金）27 日（土）
2. 会場：名古屋国際会議場 〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町 1 番 1 号
TEL: 052-683-7711 FAX: 052-683-7777

【理事会・評議員会】

理事会は 9 月 25 日（木）9：00～11：30（名古屋国際会議場 4 号館 3 階 431 会議室、第 6 会場）、
評議員会は 9 月 25 日（木）11：30～12：30（名古屋国際会議場 4 号館 3 階 432 会議室、第 4
会場）にて行います。

【参加者の皆様へ】

- 1) 参加受付は、25 日（木）は名古屋国際会議場 1 階アトリウムにて行います。総合受付にて
参加費 13,000 円をお支払いのうえ、ネームカード兼領収証をお受け取りください。学会期
間中、会場内ではネームカードを必ずご携帯ください。会員懇親会費は無料です。
- 2) 参加受付は、25 日（木）は正午より、26 日（金）、27 日（土）は朝 8 時 30 分より行いま
す。
- 3) 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医の方は、「学術集会参加報告票」とともに「専門医証
（IDカード）」を必ずご持参くださいますようお願いいたします。参加受付の際に
「学術集会参加報告票」の提出と「専門医証（IDカード）」のご提示をお願いすることにな
りました。総合受付にある「専門医証（IDカード）」受付にてお手続きください。
- 4) 医学部学生、研修医（新臨床研修制度による）の参加が認められております。参加は無料
です。参加希望の方は、9月20日までに学会事務局（E-mail：47bika@fujita-hu.ac.jp）ま
で、氏名、所属、連絡先を明記のうえ、電子メールでお申し込みください。なお、当日、
会場受付で所属責任者からの証明を確認させていただきます。
- 5) 会場内での呼び出しは、総合受付横の呼び出し用掲示板をご利用ください。
- 6) 演者および共同演者は、本学会会員に限ります。未入会の方は、入会の手続きをお取りく
ださい。なお、学会当日にも総合案内にて新入会受付を行っております。
- 7) 携帯電話はマナーモードにするか、電源を切って会場にお入りください。

【クローク】

クロークは名古屋国際会議場 1 階アトリウムに設営したクロークをご利用ください。

【会員懇親会】

9 月 26 日（金）19：00 より名古屋国際会議場 4 階レセプションホールにて行います。懇親
会費は無料ですので奮ってご参加ください。なお当日は必ず学会参加証をご着用ください。

【機器展示】

9 月 26 日（金）9：00～17：00、27 日（土）9：00～15：00 まで名古屋国際会議場白鳥ホ
ール 2 で行います。

【書籍展示】

9月26日（金）9：00～17：00、27日（土）9：00～15：00 まで名古屋国際会議場白鳥ホール前で行います。

【ドリンクサービス】

9月26日（金）9：00～17：00、27日（土）9：00～15：00 まで名古屋国際会議場白鳥ホール2で行います。

【発表者の皆様へ】

基礎問題研究会、臨床問題懇話会、スポンサードレクチャー、特別講演、招待講演、ランチョンセミナー、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ、日韓セッション：PCでのPower Pointによるプレゼンテーションのみとさせていただきます。スライドによる発表はできませんのでご注意ください。投影は1面で行います。動画をご使用の方はご自身のPCをお持ち込みください。

【一般演題の方へ】

口演：PCでのPower Pointによるプレゼンテーションのみとさせていただきます。会場のPC環境は、OSがWindows XP、アプリケーションはWindows版Power Point 2000・2003となります。Windows VistaおよびPower Point 2007は使用できません。

ビデオ演題：ビデオ形式はVHS、S-VHSです。必ず、誤消去防止の処置をしてバックアップのビデオもご持参下さい。

いずれの演題も、発表時間7分・討論3分で、投影は1面です。

PC発表の注意点

- ・発表の際は演台に設置しております操作用キーパッドを使って、演者ご自身により操作をお願いいたします。オペレーターによる操作を希望の方は会場にて、事前に進行係にお伝えください。また、ご自身のパソコンを操作されることも可能です。

〈PC発表〉

- (1) 発表に際してはデータでお預かりの先生はUSBフラッシュメモリー（Windowsのみ）のみです。PC本体をお持ち込みの先生はWindows、Macintoshどちらでも可能です。動画をご使用の先生、Macをご希望の先生はPC本体をお持ち込みください。Windows Vista ご使用の先生もPC本体のお持ち込みをお願いいたします。
- (2) 発表の1時間前（9時からのセッションは30分前）までにPCセンター（総合受付）にて用意したチェックシートに必要事項を記入後、専門のPCオペレーター立ち会いのもと動作確認を行ってください。
- (3) 下記ルールに基づいたPC接続の標準環境のみをご用意いたします。表現される画面の不具合についてはすべて演者の責任となりますのでご注意ください。
- (4) PC接続は外部出力端子がD-Sub-15pinです。PCの機種によっては外部出力端子がD-Sub-15pin以外のものがございますので、必ずD-Sub-15pinで接続できるコネクタ

ーを各自ご持参ください。

- (5) ご持参される PC での外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。また、バッテリー切れを防ぐために電源アダプターをご持参ください。
- (6) 必ず発表データ（動画がある場合は動画ファイルを含む）を含んだ予備を持参してください。
- (7) 当方での予備環境について

- ① OS : Windows XP
- ② アプリケーション : Windows 版 Power Point 2000・2003
- ③ 発表に使用できるデータ

Windows で作成した Microsoft Power Point のファイルのみとします。画面サイズは XGA (1024×768) になります。

Mac 版 Power Point やその他のアプリケーションで作成されたデータは、受け付けできませんのでご注意ください。Mac 版 Power Point で作成したファイルを Windows 版 Power Point に変換した場合、データが正確に表現できない場合があります。上記環境の PC ですべての画面が不具合なく表現されることをあらかじめご確認のうえ、完成した形でお持ちください。

- ④ フォント

Windows XP（日本語版）に標準搭載されているフォントのみ使用可能です。

日本語 : MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝の 4 種類のみ。

英 語 : Times New Roman、Arial、Arial Black、Arial Narrow、Century、Century Gothic、Courier、Courier New、Georgia の 9 種類のみ。

これ以外のフォントを使用した場合、正確に表現できない場合があります。

- ⑤ データ容量

データの容量は、100MB（総量）までとさせていただきます。

- ⑥ 動画について

動画を Power Point に埋め込む場合、Windows 版の Media Player で動作する形式をお使いください。これ以外のリアルタイムプレーヤー、クイックタイムプレーヤーなどの動画ソフトは利用できません。 動画を使用する場合、リンク切れにご注意ください。メディアにコピーした後、作成した PC 以外での PC で動作確認することにより解決できます。なお、動画ファイルには拡張子を必ずつけてください。音声について PC からの音声再生につきましては一切対応いたしません。

- ⑦ メディアの持ち込み形式について

USB フラッシュメモリーのための受付とさせていただきます。MO ディスク、スマートメディア、SD カード、メモリースティック、コンパクトフラッシュ等のメディアによる受付はいたしませんのでご注意ください。不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちいただきますようお願い申し上げます。

- ⑧ データ名の統一について

持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ（完成版）以外のデータを入れないでください。また、データのファイル名には、演題番号（半角）に続けて、発表者の氏名（漢字）を必ずつけてください。

【司会・座長の先生方へ】

- 1) セッション開始 30 分前までに必ず進行係（各会場右前方）にお声をおかけください。
- 2) 各セッションの進行は司会・座長の先生方にお任せいたします。定刻通りの進行をお願いいたします。

【討論・発言について】

- 1) 多くの会員の活発な討論・発言を歓迎いたします。
- 2) 発言される方はあらかじめフロアマイクの前に待機し、司会者の指示に従って氏名・所属を述べたうえで簡潔明瞭に行ってください。

【呼び出しについて】

各会場とも緊急時以外の呼び出しはいたしませんのでご了承下さい。メッセージボードを用意いたしますのでご利用ください。

【連絡先】

■ 第 47 回日本鼻科学会事務局

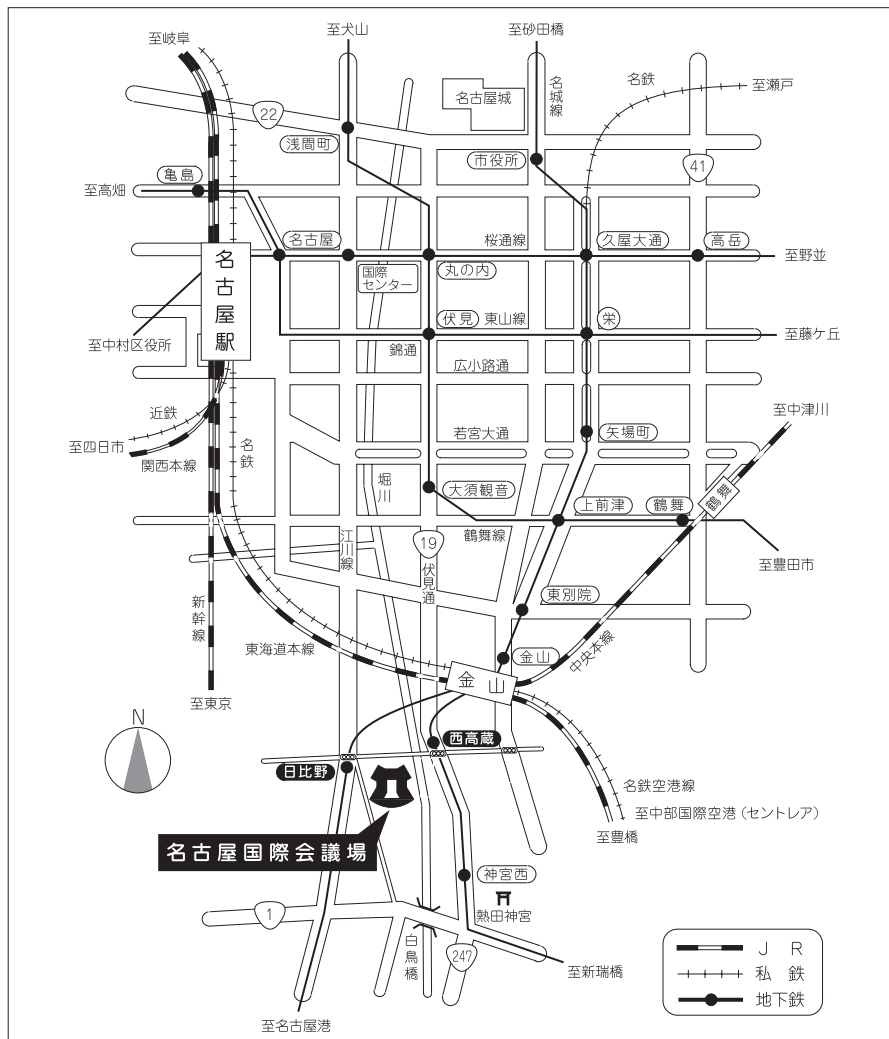
藤田保健衛生大学耳鼻咽喉科

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

TEL : 0562-93-9291 FAX: 0562-95-0566

E-mail : 47bika@fujita-hu.ac.jp

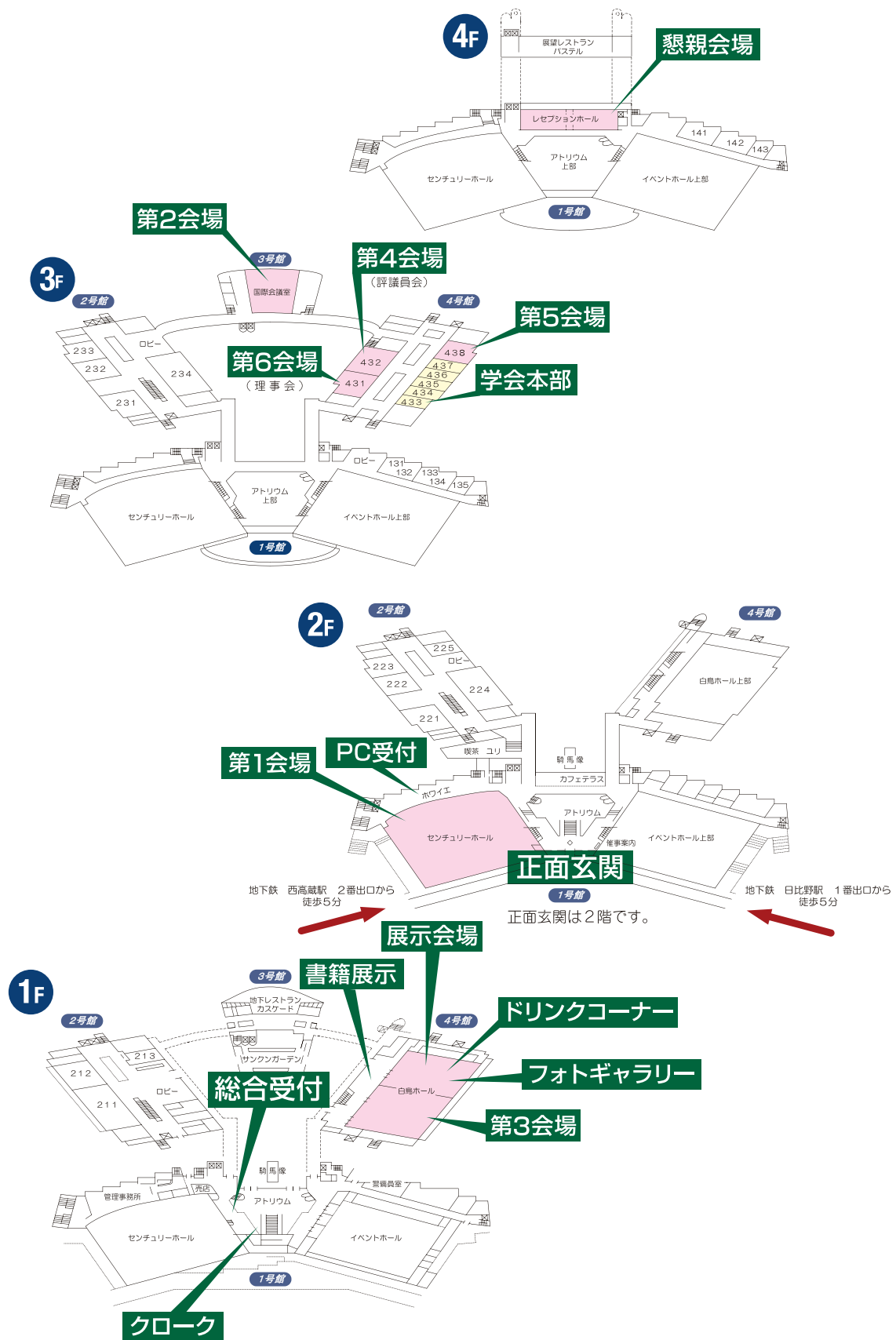
〈交通のご案内〉



名古屋駅	タクシー	名古屋駅 → 名古屋国際会議場	約20分	約2,000円
東海道新幹線 JR線、名鉄線 近鉄線	地下鉄	名古屋駅 → 東山線「栄」 桜通線「久屋大通」で乗り換え → 名城線「名古屋港行き」→「日比野」①④出口 徒歩約5分 → 名古屋国際会議場 新端橋方面 → 「西高蔵」②出口 徒歩約5分	約30分	地下鉄230円
JR + 地下鉄		JR在来線「名古屋駅」 → 「金山」で地下鉄に乗り換え → 名城線「金山」 名古屋港行き → 「日比野」①④出口 徒歩約5分 → 名古屋国際会議場 新端橋方面 → 「西高蔵」②出口 徒歩約5分	約30分	JR160円 + 地下鉄200円
中部国際空港	名鉄線 + 地下鉄	中部国際空港 → 空港線快速特急25分 → 「金山」で地下鉄に乗り換え 名古屋港行き → 「日比野」①④出口 徒歩約5分 → 名古屋国際会議場 → 名城線「金山」 新端橋方面 → 「西高蔵」②出口 徒歩約5分	約40分	空港線1,140円 + 地下鉄200円

● 公共交通機関をご利用ください

名古屋国際会議場 会場案内図



平成20年9月25日(木)

第1会場 センチュリー		第4会場 432	第6会場 431
8:00			8:00
9:00			9:00
10:00			10:00
11:00			11:00
12:00		11:30～12:30 日本鼻科学会評議員会	12:00
13:00			13:00
14:00	13:00～14:30 第44回鼻科学基礎問題研究会 「鼻・副鼻腔粘膜の炎症病態の基礎的解明と将来的展望」 司会：川内秀之（島根大） 藤枝重治（福井大）		14:00
15:00	14:40～16:10 第37回鼻科学臨床問題懇話会 「副鼻腔炎遷延化・難治化の最近の問題」 司会：山中 昇（和歌山県医大） 黒野祐一（鹿児島大）		15:00
16:00			16:00
17:00	16:20～17:30 スポンサードレクチャー 「Our Experience on Transnasal Endoscopic Skull Base and Brain Surgery」 司会：森山 寛（慈恵医大） 演者：Aldo Stamm（Sao Paulo ENT Center, ブラジル）		17:00
18:00			18:00
19:00			19:00
20:00			20:00

平成20年9月26日(金)

[illegible]

平成20年9月26日(金)

第4会場 432	第5会場 438	第6会場 431	展示会場 白鳥2
9:00～10:00 第9群 悪性腫瘍Ⅰ 座長:丹生健一(神戸大) 水見徹夫(札幌医大)	9:00～10:00 第11群 嚔胞など 座長:高橋晴雄(長崎大) 鈴木秀明(産業医大)	9:00～10:00 第13群 嗅覚臨床Ⅰ 座長:池田 稔(日大) 肥塚 泉(聖マリアンナ医大)	機器展示 フォトギャラリー 「地球への憧憬」
10:00～10:30 第10群 悪性腫瘍Ⅱ 座長:兵頭政光(高知大)	10:00～10:30 第12群 真菌症など 座長:安岡義人(群馬大)	10:00～10:30 第14群 嗅覚臨床Ⅱ 座長:清水猛史(滋賀医大)	
12:10～13:10 ランチョンセミナー2 睡眠呼吸障害 司会:西村忠郎(藤田保健衛生大名誉教授) 演者:宮崎総一郎(滋賀医大 睡眠学講座)	12:10～13:10 ランチョンセミナー3 鼻淵と後鼻淵の成因と対策 司会:夜陣猛治(広島大名誉教授) 演者:間島雄一(市立伊勢総合病院)		
17:20～18:20 第22群 悪性腫瘍Ⅲ 座長:長谷川泰久(愛知県がんセンター) 甲能直幸(杏林大)	17:20～18:00 第24群 鼻アレルギー基礎Ⅰ 座長:竹野幸夫(広島大)	17:20～18:20 第26群 嗅覚基礎 座長:平川勝洋(広島大) 渡辺建介(獨協越谷)	
18:20～18:50 第23群 悪性腫瘍Ⅳ 座長:吉原俊雄(東京女子医大)	18:00～18:40 第25群 鼻アレルギー基礎Ⅱ 座長:松崎全成(山梨大)	18:20～18:50 第27群 症例 座長:出島健司(京都第二赤十字)	
19:00～21:00 会員懇親会(レセプションホール)			

平成20年9月27日(土)

	第1会場 センチュリー	第2会場 国際会議室	第3会場 白鳥1
8:00			
9:00	9:00～9:40 第28群 嗅覚臨床Ⅲ 座長: 原淵保明(旭川医大)	9:00～9:30 第29群 手術Ⅱ 座長: 鮫島靖浩(熊本大)	9:00～9:40 第31群 鼻副鼻腔臨床Ⅱ 座長: 鈴木正志(大分大)
10:00	9:40～10:55 パネルディスカッションⅡ 嗅覚障害に関する研究の最先端 司会: 阪上雅史(兵庫医大) 井之口 昭(佐賀大)	9:30～10:30 第30群 手術Ⅲ 座長: 細井裕司(奈良県立医大) 高橋 姿(新潟大)	9:40～10:20 第32群 鼻副鼻腔臨床Ⅲ 座長: 飯野ゆき子(自治さいたま)
11:00	10:55～11:25 招待講演 The Effect of Asiann Sand Dust in Airway Epithelium and Allergic Mouse Model 司会: 洲崎春海(昭和大) 演者: Seon-Tae Kim (Gil Medical Center 韓国) 11:25～12:05 日韓セッション Any Differences about Septoplasty between Japan and Korea? 司会: Tae-Young Jang(Inha Univ.) 演者: Bong-Jae Lee(Asan Medical Center) 鴻 信義(慈恵医大)	10:35～12:05 パネルディスカッションⅢ 内視鏡鼻科手術支援機器はどこまで進歩したか 司会: 友田幸一(関西医大) 春名真一(獨協医大)	
12:00			
			12:10～13:10 ランチョンセミナー4 アレルギー性鼻炎患者のQOLについて 司会: 今野昭義(南東北病院) 演者: 荻野 敏(阪大)
13:00			
14:00	13:15～14:45 シンポジウムⅡ アレルギー性鼻炎治療の最前線 司会: 岡本美孝(千葉大) 増山敬祐(山梨大)	フォトシアター	
15:00	14:50～15:40 第39群 鼻アレルギー臨床Ⅶ 座長: 花澤豊行(千葉大) 原田 保(川崎医大)	14:50～15:40 第41群 手術Ⅳ 座長: 庄司和彦(天理よろづ相談所病院) 河田 了(大阪医大)	14:50～15:40 第43群 鼻副鼻腔臨床Ⅴ 座長: 大越俊夫(東邦大 大橋病院) 西崎和則(岡山大)
16:00	15:40～16:20 第40群 鼻アレルギー臨床Ⅷ 座長: 伊藤由紀子(三重中央医療センター)	15:40～16:20 第42群 鼻副鼻腔臨床Ⅳ 座長: 湯田厚司(三重大)	15:40～16:20 第44群 症例など 座長: 土師知行(倉敷中央病院)
	閉会の辞		
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			

平成20年9月27日(土)

第4会場 432	第5会場 438	第6会場 431	展示会場 白鳥2
			8:00
			9:00
9:00～9:40 第33群 良性腫瘍Ⅱ 座長:山下裕司(山口大)	9:00～9:40 第35群 鼻アレルギー臨床Ⅵ 座長:久松建一(久松耳鼻咽喉科)	9:00～9:40 第37群 鼻腔通気 座長:戸川 清(本荘第一病院)	
9:40～10:30 第34群 良性腫瘍Ⅲ 座長:久 育男(京都府医大) 平林秀樹(獨協医大)	9:40～10:40 第36群 鼻アレルギー基礎Ⅲ 座長:白崎英明(札幌医大) 寺田修久(E. N. Tアライアンス)	9:40～10:20 第38群 睡眠時無呼吸 座長:中山明峰(名古屋市大)	10:00
			11:00
			12:00
			13:00
			14:00
			15:00
14:50～15:50 第45群 血瘤腫 座長:岡本牧人(北里大) 中島 務(名古屋大)	14:50～15:40 第47群 良性腫瘍Ⅳ 座長:家根旦有(奈良県立医大) 望月高行(大和徳洲会病院)	14:50～15:30 第49群 鼻出血 座長:伊藤八次(岐阜大)	
15:50～16:20 第46群 手術Ⅴ 座長:宇佐美真一(信州大)	15:40～16:20 第48群 悪性腫瘍Ⅴ 座長:小川徹也(愛知医大)	15:30～16:20 第50群 後鼻孔閉鎖など 座長:峯田周幸(浜松医大) 水田啓介(岐阜大)	16:00
			17:00
			18:00
			19:00
			20:00

第47回日本鼻科学会総会ならびに学術講演会

[平成20年 9 月25日 (木)]

第1会場「センチュリー」

第44回鼻科学基礎問題研究会

13:00~14:30

鼻・副鼻腔粘膜の炎症病態の基礎的解明と将来的展望

司会：川内 秀之（島根大），藤枝 重治（福井大）

1. 好酸球性炎症におけるエンテロトキシンの作用と PGE2 による制御
岡野 光博（岡山大）
2. 好酸球性炎症における粘液分泌過多の機序の解明
竹内 万彦（三重大）
3. CD40 siRNA によるアレルギー性鼻炎の制御
鈴木 元彦（名古屋市大）
4. B細胞とアレルギー
山田 武千代（福井大）

第1会場「センチュリー」

第37回鼻科学臨床問題懇話会

14:40~16:10

副鼻腔炎遷延化・難治化の最近の問題

司会：山中 昇（和歌山県医大），黒野 祐一（鹿児島大）

1. 小児鼻副鼻腔炎の問題点
工藤 典代（千葉県衛生短大）
2. 薬剤耐性菌による副鼻腔炎遷延化・難治化とその対策
保富 宗城（和歌山県医大）
3. アレルギーや好酸球との関係から
松根 彰志（鹿児島大）
4. 好酸球性鼻副鼻腔炎—真菌の関与について—
松脇 由典（慈恵医大）

第1会場「センチュリー」

スポンサードレクチャー

16:20~17:30

Our Experience on Transnasal Endoscopic Skull Base and Brain Surgery.
Endoscopic Transnasal Craniectomy (ETC)

司会：森山 寛（慈恵医大）

演者：Aldo Stamm（São Paulo ENT center、Federal Univ. of Sao Paulo ブラジル）

[平成20年 9 月26日（金）]

第1会場「センチュリー」

パネルディスカッション I

10:35~12:05

鼻副鼻腔悪性腫瘍の治療法選択における論点

司会：岸本 誠司（東医歯大），桜井 一生（藤田保健衛生大）

1. 鼻副鼻腔悪性腫瘍治療の現状
神山 亮介（東医歯大）
2. 分割切除の立場から
西野 宏（自治医大）
3. 一塊切除の立場から
佐々木 徹（癌研有明病院）
4. 超選択的動注化学療法を用いた上顎癌の治療
志賀 清人（東北大）
5. 放射線治療の立場から
河島 光彦（国立がんセンター東病院 放射線部）

第2会場「国際会議室」

ワークショップ

10:55~12:05

花粉曝露実験の現状と問題点

司会：竹中 洋（大阪医大）

1. 野外比較試験の経験と問題点
伊藤 周史（藤田保健衛生大）
2. EEU Wakayama における花粉曝露試験の経験と将来
榎本 雅夫（NPO 日本健康増進支援機構）
3. 症状出現に関する解析
伊藤 加奈子（大阪医大）
4. OHIO Chamber でのこれまでの結果をふまえて
橋口 一弘（北里研究所病院）

第3会場「白鳥1」

ランチョンセミナー 1

12:10~13:10

スギ花粉症の治療 —その現状と将来展望—

司会：鈴木 賢二（藤田保健衛生大 坂文種報徳會病院）

演者：大橋 淑宏（アクティ大阪耳鼻咽喉科医院）

第4会場「432」

ランチョンセミナー 2

12:10~13:10

睡眠呼吸障害 —鼻閉の関わり—

司会：西村 忠郎（藤田保健衛生大名誉教授）

演者：宮崎 総一郎（滋賀医大 睡眠学講座）

第5会場「438」

ランチョンセミナー 3

12:10~13:10

鼻漏と後鼻漏の成因と対策 —慢性副鼻腔炎を中心に—

司会：夜陣 紘治（広島大名誉教授）

演者：間島 雄一（市立伊勢総合病院）

第1会場「センチュリー」

第15回日本鼻科学会賞受賞記念講演

14:15～14:40

アレルギー性鼻炎及び頭頸部癌における抗原特異的T細胞の検討と臨床への応用

司会：竹中 洋（大阪医大）

演者：堀口 茂俊（千葉大）

第1会場「センチュリー」

特別講演

14:40～15:40

RHINOMANOMETRY

司会：長谷川 誠（東医歯大 歯科睡眠呼吸障害管理学講座）

演者：Peter Clement（Brussels Free Univ. ベルギー）

第1会場「センチュリー」

シンポジウム I

15:45～17:15

鼻腔通気度測定の最近の進歩 —普及をめざして—

司会：加瀬 康弘（埼玉医大），大木 幹文（東邦大 大橋病院）

1. 睡眠時無呼吸症候群と鼻呼吸障害についての鼻腔通気度検査の重要性
中田 誠一（名古屋大）
2. 睡眠障害における鼻腔通気度検査の有用性について
千葉 伸太郎（太田総合病院）
3. 鼻閉の診断における鼻腔通気性の客観的評価
竹内 裕美（鳥取大）
4. 鼻咽腔閉鎖機能への応用
堀部 晴司（藤田保健衛生大）

[平成20年 9 月27日 (土)]

第1 会場「センチュリー」

パネルディスカッションⅡ

9:40~10:55

嗅覚障害に関する研究の最先端

司会：阪上 雅史（兵庫医大），井之口 昭（佐賀大）

1. 嗅神経におけるヒスタミンレセプターの役割
三村 英也（藤田保健衛生大）
2. 嗅覚障害に対するアイソトープを用いた機能的画像診断
三輪 高喜（金沢大）
3. 外傷性嗅覚障害の予後因子と予後改善のための基礎研究
小林 正佳（三重大）
4. 「生活臭アンケート」を用いた嗅覚評価
都築 建三（兵庫医大）

第2 会場「国際会議室」

パネルディスカッションⅢ

10:35~12:05

内視鏡鼻科手術支援機器はどこまで進歩したか

司会：友田 幸一（関西医大），春名 眞一（獨協医大）

1. ナビゲーション手術 —鼻科腫瘍手術を中心に—
杉本 太郎（東医歯大）
2. レーザー機器関連
工藤 睦男（昭和大）
3. マイクロデブリッター
月舘 利治（獨協医大）
4. デジタルハイビジョン・システム
比野平 恭之（愛媛大）

第1 会場「センチュリー」

《日韓交流行事》招待講演

10:55~11:25

The Effect of Asian Sand Dust on Airway Epithelium of Allergic Mouse Model

司会：洲崎 春海（昭和大）

演者：Kim Seon-Tae（Gil Medical Center, 韓国）

第1会場「センチュリー」

《日韓交流行事》日韓セッション

11:25~12:05

Any Differences about Septoplasty between Japan and Korea?

司会：Tae-Young Jang (Inha Univ.)

1. Surgery for the Deflected Nasal Septum in Korea
Bong-Jae Lee (Asan Medical Center)
2. 内視鏡下鼻中隔矯正術
鴻 信義 (慈恵医大)

第3会場「白鳥1」

ランチョンセミナー4

12:10~13:10

アレルギー性鼻炎患者のQOLについて —医療経済学的視点を含め—

司会：今野 昭義 (南東北病院)

演者：荻野 敏 (阪大)

第4会場「432」

ランチョンセミナー5

12:10~13:10

鼻科手術の歴史とマクロライド系薬剤の係わり

司会：古川 仍 (金沢大)

演者：市村 恵一 (自治医大)

第5会場「438」

ランチョンセミナー6

12:10~13:10

臨床に役立つ咽喉頭異常感，咳嗽の鑑別診断

—副鼻腔炎，アレルギー性鼻炎，喉頭アレルギーそして胃食道酸逆流との関わり—

司会：村上 信五 (名古屋市大)

演者：阪本 浩一 (兵庫県立加古川／こども病院)

第1会場「センチュリー」

シンポジウムⅡ

13:15～14:45

アレルギー性鼻炎治療の最前線：現状と今後の展望

司会：増山 敬祐（山梨大），岡本 美孝（千葉大）

1. 花粉情報の現状と将来
村山 貢司（財団法人気象業務支援センター）
2. アレルギー性鼻炎の薬物療法 —現状と問題点—
米倉 修二（千葉大）
3. 免疫療法の最前線
大久保 公裕（日医大）
4. アレルギー性鼻炎に対する手術治療
久保 伸夫（関西医大 男山病院）

一 般 演 題

《 9 月 26 日 (金) 》

第 1 会場

第 1 群 ビデオ I ・手術

9:00～9:30

座長：福田 諭（北大）

1. 当院での日帰りによる鼻・副鼻腔手術の検討

細田耳鼻科 EAR CLINIC¹、岩野耳鼻咽喉科サージセンター²

○野々田 岳夫¹、細田 泰男¹、大谷 真喜子¹、岩野 正²、吉永 和仁²、岸本 麻子²

2. 前頭洞パンチを使用した modified Lothrop procedure

大阪大学大学院医学系研究科 感覚器外科学耳鼻咽喉科¹、川崎医科大学 耳鼻咽喉科²

○西池 季隆¹、柴田 大²、森鼻 哲生¹、村田 潤子¹

3. 眼窩下壁骨折の手術中内視鏡所見による分類

聖路加国際病院 耳鼻咽喉科¹、東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科²

○柳 清¹、沖野 容子¹、吉田 拓人¹、今井 透¹、遠藤 朝則¹、鴻 信義²

第 1 会場

第 2 群 ビデオ II ・手術

9:30～10:00

座長：角田 篤信（東医歯大）

4. 篩骨洞髄膜脳瘤に対する経鼻内視鏡的アプローチ

獨協医科大学 耳鼻咽喉科¹、東京慈恵会医大 耳鼻咽喉科²

○春名 真一¹、飯村 慈朗²、月館 利治¹

5. 蝶形骨洞乳頭腫手術における内視鏡下アプローチ

筑波学園病院 耳鼻咽喉科¹、筑波大学 耳鼻咽喉科²、京都大学 耳鼻咽喉科³

○村下 秀和¹、野村 正猛¹、米納 昌恵¹、原 晃²、中川 隆之³

6. 経蝶形骨下垂体手術後に生じた鼻出血に対して内視鏡下止血が有効であった一例

愛媛大学 医学部 耳鼻咽喉科

○高橋 宏尚、比野平 恭之、暁 清文

第1会場

第3群 ビデオⅢ・ナビゲーション

10:00~10:30

座長：池田 勝久（順天堂大）

7. 内視鏡下鼻内副鼻腔手術におけるナビゲーションの役割
熊本大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科
○湯本 英二、讃岐 徹治、増田 聖子
8. 当科におけるナビゲーションガイド鼻・副鼻腔手術症例
旭川医科大学 医学部 耳鼻咽喉科
○片山 昭公、坂東 伸行、片田 彰広、高原 幹、石井 秀幸、高林 宏輔、
林 達哉、原渕 保明
9. 鼻科領域ナビゲーション手術における術中画像更新—適応と実際—
東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学講座
○長岡 真人、松脇 由典、吉村 剛、浅香 大也、大櫛 哲史、鴻 信義、
森山 寛

第2会場

第4群 鼻アレルギー臨床Ⅰ

9:00~9:40

座長：本田 耕平（秋田大）

10. スギ花粉症と生まれ月との関係（当院を受診したスギ花粉症患者を対象として）
近畿大学医学部奈良病院 耳鼻咽喉科¹、近畿大学医学部 耳鼻咽喉科²
○中井 義紀¹、西田 吉直¹、浦野 圭介¹、村田 清高²
11. スギ花粉症患者における睡眠障害の検討
太田総合病院 耳鼻咽喉科¹、東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科学教室²
○千葉 伸太郎¹、森 恵利¹、大橋 正嗣¹、太田 史一¹、太田 正治¹、吉村 剛²、
朝香 大也²、今井 透²、森山 寛²
12. スギ花粉症患者の労働生産性に対する症状、QOL の影響—JRQLQ、WPAI-AS を用いて—
大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻
○伊藤 真貴、竹内 紀子、荻野 敏
13. スギ花粉症に対する治療法の違いによる QOL への影響
三重大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科¹、市立伊勢総合病院²
○湯田 厚司¹、宮本 由起子¹、西田 幸平¹、北野 雅子¹、竹内 万彦¹、間島 雄一²

第2会場

第5群 鼻アレルギー臨床Ⅱ

9:40~10:20

座長：太田 伸男（山形大）

14. スギ特異的舌下免疫療法の治療効果の検討

福井大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学¹、福井総合病院 耳鼻咽喉科²、
公立丹南病院 耳鼻咽喉科³

○大澤 陽子¹⁾、高橋 昇²⁾、窪 誠太¹⁾、小嶋 章弘³⁾、山本 英之¹⁾、山田 武千代¹⁾、
藤枝 重治¹⁾

15. 成人スギ花粉症に対する舌下免疫療法の治療成績

三重大学 医学部 医学科¹、三重大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科²、
市立伊勢総合病院³、日本医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科⁴

○清水 優¹⁾、湯田 厚司²⁾、押 正徳¹⁾、間島 雄一³⁾、大久保 公裕⁴⁾

16. 小児スギ花粉症に対する舌下免疫療法の治療成績

三重大学 医学部 医学科¹、三重大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科²、
市立伊勢総合病院³、日本医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科⁴

○押 正徳¹⁾、湯田 厚司²⁾、清水 優¹⁾、間島 雄一³⁾、大久保 公裕⁴⁾

17. 小児通年性アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法の臨床効果の検討

千葉大学 大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科¹、千葉県こども病院 耳鼻咽喉科²、
千葉県立衛生短期大学³、北海道大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科学⁴、
秋田大学 医学部 感覚器学講座 耳鼻咽喉科⁵

○米倉 修二¹⁾、吉江 うらら¹⁾、桜井 大樹¹⁾、堀口 茂俊¹⁾、花澤 豊行¹⁾、岡本 美孝¹⁾、
仲野 敦子²⁾、有本 有季子²⁾、巖 瑩²⁾、工藤 典代³⁾、中丸 裕爾⁴⁾、本田 耕平⁵⁾

第2会場

第6群 鼻アレルギー臨床Ⅲ

10:20~10:50

座長：松原 篤（弘前大）

18. スギ花粉粒の破裂とPHの関係

神奈川歯科大学 臨床医科学系 耳鼻咽喉科学講座¹、西山耳鼻咽喉科医院²、井口耳鼻咽喉科医院³

○佐藤 賢太郎¹⁾、八尾 和雄¹⁾、西山 耕一郎²⁾、井口 芳明³⁾、臼井 大祐¹⁾、栗原 里佳¹⁾

19. 自動花粉測定器の問題点とその改善に向けての検討

千葉大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、ウエザー・サービス株式会社²

○岡本 美孝¹⁾、吉江 うらら¹⁾、米倉 修二¹⁾、堀口 茂俊¹⁾、黒崎 元良¹⁾、花澤 豊行¹⁾、
横田 匡彦²⁾、高橋 雪江²⁾

20. スギ花粉飛散予測の検証

弘前大学 医学部 耳鼻咽喉科

○西澤 尚徳、松原 篤、白崎 隆、新川 秀一

第3会場

第7群 好酸球性副鼻腔炎

9:00~9:40

座長：石戸谷 淳一（横浜市大総合医療センター）

21. 好酸球性副鼻腔炎症例における術後経過についての検討

広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科¹、

JA 広島厚生連 尾道総合病院 耳鼻咽喉科²

○竹野 幸夫¹、西 康行¹、石野 岳志¹、呉 奎真¹、宮原 伸之¹、平川 勝洋¹、
竹田 和正^{1,2}

22. 好酸球性副鼻腔炎の抗ロイコトリエン薬とステロイド点鼻併用治療効果—CT 陰影の改善について—

日本医科大学 耳鼻咽喉科

○野中 学、酒主 敦子、福元 晃、荻原 望、小津 千佳、Pawankar Ruby、
八木 聡明

23. 好酸球性副鼻腔炎に対する DSCG（インタール）療法

西脇市立西脇病院 耳鼻咽喉科¹、神戸大学²

○小笠原 寛¹、桂 弘和¹、井之口 豪²

24. 好酸球性副鼻腔炎における eotaxin-1, -2, -3 の免疫活性および蛋白濃度の検討

順天堂大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室

○八尾 亨、横井 秀格、池田 勝久

第3会場

第8群 鼻副鼻腔基礎

9:40~10:50

座長：金井 憲一（昭和大）

Ruby Pawankar（日本医大）

25. ヒト慢性副鼻腔炎鼻茸における好酸球浸潤と上皮損傷および基底膜肥厚との関連性

順天堂大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、順天堂静岡病院 耳鼻咽喉科²、順天堂浦安病院 耳鼻咽喉科³

○楠 威志¹、齊藤 達矢¹、川野 健二²、八尾 亨¹、横井 秀格³、池田 勝久¹

26. 好酸球浸潤の程度による鼻茸組織中の細胞外基質蛋白 periostin の存在形式

横浜市立大学附属¹、横浜市立大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科²

○塩野 理¹、石戸谷 淳一¹、佃 守²

27. 鼻茸線維芽細胞からの TSLP 産生とその制御

東埼玉総合病院¹、日本医科大学²

○福元 晃¹⁾、野中 学²⁾、荻原 望²⁾、酒主 敦子²⁾、Pawankar Ruby²⁾、八木 聡明²⁾

28. ヒト鼻副鼻腔粘膜における HGF/c-Met の局在について

広島大学 医学部 耳鼻咽喉科

○石野 岳志、宮原 信之、呉 奎真、竹野 幸夫、平川 勝洋

29. 喘息を伴う副鼻腔炎における好酸球および好中球の役割

順天堂大学 耳鼻咽喉科学教室

○齊藤 達矢、楠 威志、川野 健二、八尾 亨、横井 秀格、池田 勝久

30. 慢性副鼻腔炎における protease-activated receptors (PARs) の関与

慈恵医大耳鼻咽喉科

○吉田 拓人、松脇 由典、浅香 大也、森山 寛

31. Alternaria による鼻ポリープ由来線維芽細胞のサイトカイン産生

東京厚生年金病院 耳鼻咽喉科¹、Mayo Clinic, Rochester, MN, Otolaryngology²、

Mayo Clinic, Rochester, MN, Allergic disease research Laboratory³

○和田 弘太¹⁾、Oren Friedman²⁾、John Pallanch²⁾、紀太 博仁³⁾

第4会場

第9群 悪性腫瘍 I

9:00~10:00

座長：丹生 健一（神戸大）

氷見 徹夫（札幌医大）

32. 鼻性NK/T細胞リンパ腫における metalloelastase の発現

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

○岸部 幹、長門 利純、森合 重誉、石井 秀幸、高原 幹、片山 昭公、
原渕 保明

33. 鼻性NK/T細胞リンパ腫細胞株と炎症細胞間の相互作用についての検討

旭川医科大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○石井 秀幸、高原 幹、原渕 保明

34. 鼻性NK/T細胞リンパ腫における IP-10の発現と機能

JA北海道厚生連 旭川厚生病院 耳鼻咽喉科¹、旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科²

○森合 重誉¹⁾、高原 幹²⁾、岸部 幹²⁾、石井 秀幸²⁾、原渕 保明²⁾

3 5. 前頭洞原発悪性リンパ腫 2 症例

東海大学 大磯病院 耳鼻咽喉科¹、東海大学病院 耳鼻咽喉科²、
東海大学 八王子病院 耳鼻咽喉科³
○関根 基樹¹、飯田 政弘²、竹尾 輝久³

3 6. 生体腎移植後に蝶形洞真菌症・悪性リンパ腫を発症した一例

東京女子医科大学 耳鼻咽喉科
○桑内 麻也子、金子 富美恵、吉原 俊雄

3 7. 悪性リンパ腫治療後に発生した放射線誘発上顎肉腫症例

京都府立医科大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野¹、綾部市立病院²、丸太町病院³
○浜 雄光¹、安田 誠¹、浅野 純志²、広村 弥生³、久 育男¹

第 4 会場

第10群 悪性腫瘍Ⅱ

10:00~10:30

座長：兵頭 政光（高知大）

3 8. 当科 3 年間の鼻副鼻腔腫瘍の検討

昭和大学 藤が丘病院 耳鼻咽喉科¹、昭和大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室²
○嶋根 俊和¹、古矢 彩子¹、寺尾 元¹、三邊 武幸¹、洲崎 春海²

3 9. 当科で初回治療を行った鼻副鼻腔悪性黒色腫11例

横浜市立大学 医学部 耳鼻咽喉科
○堀内 長一、三上 康和、佃 守、松田 秀樹、高橋 優宏、渡辺 牧子

4 0. 腫瘍体積よりみた sinonasal 悪性腫瘍に対するサイバーナイフの治療効果

日赤医療センター サイバーナイフセンター¹、三井記念病院 脳神経外科²、
日赤医療センター 脳神経外科³、Duke 大学 脳神経外科⁴
○宮崎 紳一郎¹、田草川 豊²、鈴木 一郎³、福島 孝徳⁴

第 5 会場

第11群 嚢胞など

9:00~10:00

座長：高橋 晴雄（長崎大）

鈴木 秀明（産業医大）

4 1. 当科における副鼻腔嚢胞の臨床的検討

島根大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室
○清水 保彦、木村 光宏、梅原 毅、森倉 一郎、片岡 真吾、川内 秀之

4 2. 当科における後部副鼻腔嚢胞の臨床的検討

九州大学 医学研究院 耳鼻咽喉科

○岡 正倫、安松 隆治、吉川 沙耶花、小池 浩次、梅崎 俊郎、小宗 静男

4 3. 視器症状を呈した副鼻腔のう胞の検討

奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室

○成尾 一彦、細井 裕司

4 4. 視力障害を伴った鼻副鼻腔疾患の5症例

済生会野江病院 耳鼻咽喉科¹、関西医科大学 耳鼻咽喉科²

○河本 光平¹、金子 敏彦²、大前 麻理子²、小西 将矢²、中出 多子²、鈴木 健介²、朝子 幹也²、北尻 雅則²

4 5. 緊急手術にて視力の著明改善を認めた副鼻腔嚢胞症例

北九州総合病院 耳鼻咽喉科¹、産業医科大学 医学部 耳鼻咽喉科²

○上田 成久¹、大久保 淳一²、平木 信明²、北村 拓朗²、鈴木 秀明²

4 6. 副鼻腔嚢胞に対する嚢胞開放部シリコン板留置の試み

山梨大学 大学院 医学工学総合研究部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○上條 篤、山本 卓典、森山 元大、初鹿 恭介、増山 敬祐

第5会場

第12群 真菌症など

10:00~10:30

座長：安岡 義人（群馬大）

4 7. 副鼻腔真菌症の手術成績

山田赤十字病院 耳鼻咽喉科

○福家 智仁、山田 弘之、宮村 朋孝、富岡 利文、福喜多 晃平

4 8. 浸潤型真菌性副鼻腔炎の治療報告

東北大学 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科

○中谷 和弘、工藤 貴之、大島 猛史、小林 俊光

4 9. アレルギー性真菌性副鼻腔炎の1症例

岐阜大学 医学部 耳鼻咽喉科

○青木 香織、水田 啓介、山田 南星、青木 光広、伊藤 八次

第 6 会場

第13群 嗅覚臨床Ⅰ

9:00~10:00

座長：池田 稔（日大）

肥塚 泉（聖マリアンナ医大）

5 0. 「生活臭アンケート」の嗅覚評価の有効性について

兵庫医科大学病院 耳鼻咽喉科

○竹林 宏記、都築 建三、岡 秀樹、阪上 雅史

5 1. 嗅覚障害患者における心理テストの検討

自治医科大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、自治医科大学附属さいたま医療センター²

○石川 敏夫¹、斎藤 知寿¹、牧野 伸子¹、太田 康²、市村 恵一¹

5 2. 嗅覚障害の自覚症状と UPSIT の相関

名古屋市立大学 医学部 耳鼻咽喉科

○中村 善久、尾崎 慎哉、濱島 有喜、鈴木 元彦、村上 信五

5 3. 慢性副鼻腔炎を対象とした各種嗅覚検査法の評価

鹿児島大学医歯学総合研究科聴覚頭頸部疾患学

○川島 雅樹、松根 彰志、黒野 祐一

5 4. 嗅覚脱失例に対する n—プロピルメルカプタン認知検査

群馬大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学¹、公立富岡総合病院²

○鎌田 英男¹、島田 哲明¹、桑原 幹夫²、古屋 信彦¹

5 5. 当帰芍薬散による嗅覚障害の治療

群馬大学 耳鼻咽喉科 頭頸部外科学¹、公立富岡総合病院²

○島田 哲明¹、鎌田 英男¹、桑原 幹夫²、工藤 毅¹、安岡 義人¹、古屋 信彦¹

第 6 会場

第14群 嗅覚臨床Ⅱ

10:00~10:30

座長：清水 猛史（滋賀医大）

5 6. 好酸球性副鼻腔炎における嗅覚障害

金沢大学 医学部 耳鼻咽喉科

○達富 真司、広田 京子、志賀 英明、三輪 高喜

5 7. ミクリツ病およびキューッナー腫瘍における嗅覚障害の検討

札幌医科大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、札幌医科大学 医学部 第1内科²

○高野 賢一¹、氷見 徹夫¹、山本 元久²

5 8. 簡易型ドライビングシュミレーション使用下の前頭皮質における嗅覚機能評価

香川大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、内海病院 耳鼻咽喉科²

○小林 英治^{1,2)}、唐木 将行¹⁾、小林 隆一¹⁾、森 望¹⁾

第1会場

第15群 ビデオⅣ・手術

17:20～17:50

座長：湯本 英二（熊本大）

5 9. 鼻閉に対する手術、特に下鼻甲介の取り扱いについての一考察

杏林大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、耳鼻咽喉科サージセンター名古屋院²

○金谷 毅夫¹⁾、黄川田 徹²⁾、甲能 直幸¹⁾、吉井 徹哉²⁾

6 0. 鼻中隔矯正術、Wadak 法変法の開発

西脇市立西脇病院 耳鼻咽喉科¹、神戸大学 医学部 耳鼻咽喉科²

○小笠原 寛¹⁾、桂 弘和¹⁾、井之口 豪²⁾

6 1. 機能面、整容面での改善が得られた revision open septorhinoplasty 症例

大分大学 医学部 耳鼻咽喉科

○児玉 悟、野田 加奈子、立山 香織、鈴木 正志

第1会場

第16群 ビデオⅤ・手術ほか

17:50～18:20

座長：石川 和夫（秋田大）

6 2. 当科における鼻副鼻腔 Inverted Papilloma 症例の検討

関西医科大学 耳鼻咽喉科¹、関西医科大学附属男山病院耳鼻咽喉科²

○朝子 幹也¹⁾、古川 昌幸¹⁾、岡崎 はるか²⁾、高田 洋平¹⁾

6 3. Osler 病に対する超音波凝固切開装置の有効性について

東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学講座

○元山 智恵、松脇 由典、大櫛 哲史、長岡 真人、浅香 大也、吉村 剛、
鴻 信義、森山 寛

6 4. 超音波ドップラーによる蝶形骨洞病変の血管モニタリング

独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 耳鼻咽喉科

○三澤 逸人、石岡 麻優

第1会場

第17群 良性腫瘍Ⅰ

18:20~18:40

座長：鈴木 幹男（琉球大）

6 5. 蝶形骨洞に進展し診断に苦慮した下垂体腺腫の2症例

福島県立医科大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、太田西の内病院 耳鼻咽喉科²

○多田 靖宏¹、三浦 智広¹、谷 亜希子¹、鈴木 輝久²、大森 孝一¹

6 6. 前頭蓋底アプローチで腫瘍を摘出した篩骨洞線維性骨異形成症の一例

熊本大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○東家 完、西本 康兵、讃岐 徹治、湯本 英二

第2会場

第18群 鼻アレルギー臨床Ⅳ

17:20~18:20

座長：野中 学（日本医大多摩永山病院）

今井 透（聖路加国際病院）

6 7. スギ花粉症患者における第2世代抗ヒスタミン薬による鼻閉に対する効果の検討

福井大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○山本 英之、藤枝 重治、山田 武千代、木村 有一、大澤 陽子、呉 明美、
窪 誠太

6 8. スギ・ヒノキ花粉症における塩酸オロパタジンの異なる内服方法での有用性の検討

佐賀大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座¹、大町町立病院 耳鼻咽喉科²

○林田 精一郎^{1,2}、佐藤 慎太郎¹、井之口 昭¹

6 9. 塩酸オロパタジンのスギ花粉症に対する短期QOL改善効果の検討

山口大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野

○御厨 剛史、菅原 一真、橋本 誠、綿貫 浩一、堀 健志、山下 裕司

7 0. プランルカストのスギ花粉症に対する初期療法薬としての二重盲検比較試験—単独効果を中心に—

日本医科大学 千葉北総病院 耳鼻咽喉科¹、日本医科大学 耳鼻咽喉科²

○後藤 穰¹、大久保 公裕²、奥田 稔²

7 1. スギ花粉症に対する第2世代抗ヒスタミン薬の有効性の比較検討

東京医科大学 耳鼻咽喉科

○長谷川 達哉、北村 剛一、山口 太郎、稲垣 太郎、萩原 晃、許斐 氏元、
大塚 康司、鈴木 衛

7 2. スギ花粉治療における第二世代抗ヒスタミン剤の比較検討 (2006~2008年)

名古屋市立大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科¹、JA 愛知厚生連江南厚生病院²、
JA 愛知厚生連豊田厚生病院³

○尾崎 慎哉¹、大橋 卓司²、大野 伸晃³、中村 善久¹

第2会場

第19群 鼻アレルギー臨床Ⅴ

18:20~18:50

座長：宇佐神 篤（東海花粉症研究所）

7 3. スギ花粉症患者へのアロマオイルネブライザーの応用

医療法人はなみ会伊藤耳鼻咽喉科

○伊藤 弘美

7 4. スギ花粉症に対する顔スチームミストネブライザー療法の検討

東京医科大学霞ヶ浦病院 耳鼻咽喉科¹、東京医科大学 耳鼻咽喉科学教室²

○荒木 進¹、根本 祥子¹、鈴木 衛²

7 5. アレルギー性鼻閉患者におけるアロマテラピー効果の検討

千葉大学 大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

○吉江 うらら、米倉 修二、久満 美奈子、櫻井 大樹、茶藪 英明、堀口 茂俊、
花澤 豊行、岡本 美孝

第3会場

第20群 手術Ⅰ

17:20~17:50

座長：佐野 真一（協愛医院）

7 6. 当科における内視鏡下鼻副鼻腔手術後の検討

天理よろづ相談所病院

○高橋 淳人、庄司 和彦、伊木 健浩、水田 匡信、松原 真美

7 7. 内視鏡下鼻内副鼻腔手術の術後内視鏡評価法（第3報）CT 評価法との比較

熊本大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科

○増田 聖子、讃岐 徹治、湯本 英二

7 8. 鼻内内視鏡手術時代における上顎洞根本術の意義

大分大学 医学部 免疫アレルギー統御講座（耳鼻咽喉科）

○岡本 朋代、児玉 悟、鈴木 正志

第3会場

第21群 鼻副鼻腔臨床Ⅰ

17:50~18:50

座長：林 達哉（旭川医大）

八尾 和雄（神奈川歯科大）

79. 塩酸セビメリン水和物投与により改善した後鼻漏

獨協医科大学越谷病院 耳鼻咽喉科

○中島 規幸、三輪 正人、廣瀬 壮、渡邊 建介

80. 鼻副鼻腔炎に伴う後鼻漏と咳嗽の関連について

兵庫県立加古川病院 耳鼻咽喉科

○阪本 浩一、吉田 尚史

81. CTで片側鼻副鼻腔のみに陰影が認められた症例の検討

大阪回生病院 耳鼻咽喉科

○川本 将浩

82. 上顎洞内に迷入したインプラント体による上顎洞炎の1例

大阪歯科大学 歯学部 総合診療診断科¹、大阪歯科大学 耳鼻咽喉科学講座²

○城山 明宏¹⁾、毛利 大介²⁾、青木 秀哲¹⁾

83. 上顎洞内に漏出した根管充填材を原因とした上顎洞炎の一例

滋賀医科大学 医学部 医学科

○瀬野 悟史、柴山 将之、清水 猛史

84. 破折歯による歯性上顎洞炎の病態と治療

佐藤クリニック耳鼻咽喉科¹、久留米大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座²

○佐藤 公則^{1,2)}

第4会場

第22群 悪性腫瘍Ⅲ

17:20~18:20

座長：長谷川 泰久（愛知県がんセンター）

甲能 直幸（杏林大）

85. 当科における鼻副鼻腔悪性腫瘍症例の検討

島根大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、浜田医療センター²

○淵脇 貴史¹⁾、片岡 真吾¹⁾、清水 保彦¹⁾、合田 薫¹⁾、村田 明道²⁾、川内 秀之¹⁾

8 6. 当科における上顎洞扁平上皮癌症例の検討

横浜市立大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○三上 康和、堀内 長一、佃 守

8 7. 進行上顎癌における動注化学療法併用放射線治療の検討

山梨大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○森山 元大、上條 篤、松岡 伴和、山本 卓典、松崎 全成、増山 敬祐

8 8. 当科における上顎癌動注治療後の手術方針

高知大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、高知大学医学部放射線科²

○中谷 宏章¹、弘瀬 かほり¹、松本 昇¹、兵頭 政光¹、伊藤 悟志²、山西 伴明²、
西岡 明人²、小川 恭弘²

8 9. 当科における超選択的動注放射線療法と上顎部分切除術を組み入れた鼻腔・上顎癌治療経験

順天堂大学 医学部附属順天堂医院 耳鼻咽喉・頭頸科

○伊藤 伸、松本 文彦、大峽 慎一、楠 威、池田 勝久

9 0. 上顎洞非扁平上皮癌に対する術前超選択的動注化学放射線療法の効果

宮崎大学 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科

○南 慎一、外山 勝浩、植木 義裕、東野 哲也

第4会場

第23群 悪性腫瘍Ⅳ

18:20～18:50

座長：吉原 俊雄（東京女子医大）

9 1. 鼻口蓋管嚢胞から発生したと考えられた口蓋悪性腫瘍の1例

信州大学 医学部 耳鼻咽喉科

○海沼 和幸、鬼頭 良輔、林 景子、宇佐美 真一

9 2. 鼻副鼻腔に転移した腎細胞癌例

琉球大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

○長谷川 昌宏、上原 健、鈴木 幹男

9 3. 上顎洞原発小細胞癌の1例

弘前大学 医学部 耳鼻咽喉科

○白崎 隆、松原 篤、阿部 尚央、新川 秀一

第5会場

第24群 鼻アレルギー基礎Ⅰ

17:20~18:00

座長：竹野 幸夫（広島大）

9 4. アレルギー性鼻炎に対する個別化医療を目指した検討

千葉大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、小澤耳鼻咽喉科クリニック²、千葉大学 公衆衛生学³、
千葉大学 小児科⁴

○黒崎 元良¹⁾、米倉 修二¹⁾、堀口 茂俊¹⁾、吉江 うらら¹⁾、稲嶺 絢子¹⁾、花澤 豊行¹⁾、
岡本 美孝¹⁾、小澤 仁²⁾、井上 寛規³⁾、鈴木 洋一³⁾、河野 陽一⁴⁾

9 5. 鼻アレルギー局所における FOXP 3 + 調節性 T 細胞の発現に関する検討

札幌医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

○白崎 英明、金泉 悦子、氷見 徹夫

9 6. スギ特異的免疫療法のスギおよびヒノキ特異的リンパ球応答への効果

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学¹、

国立病院機構 福山医療センター 耳鼻咽喉科²

○牧原 靖一郎^{1,2)}、岡野 光博¹⁾、檜垣 貴哉²⁾、西崎 和則²⁾

9 7. ラット副交感神経電気刺激による鼻粘膜血流の変化

滋賀医科大学 耳鼻咽喉科¹、公立甲賀病院 耳鼻咽喉科²、滋賀医科大学 薬理学講座³

○小川 富美雄¹⁾、花満 雅一²⁾、安屋敷 和秀³⁾、岡村 富夫³⁾、清水 猛史¹⁾

第5会場

第25群 鼻アレルギー基礎Ⅱ

18:00~18:40

座長：松崎 全成（山梨大）

9 8. 鼻副鼻腔粘膜における TFF の発現について

広島大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○宮原 伸之、呉 奎真、石野 岳志、竹野 幸夫、平川 勝洋

9 9. CpG による B 細胞 PD-L 1 発現促進とその機能

福井大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科¹、福井総合病院²

○窪 誠太¹⁾、山田 武千代¹⁾、大澤 陽子¹⁾、高橋 昇²⁾、藤枝 重治¹⁾

1 0 0. 生理食塩水の鼻洗浄による鼻粘膜上皮バリア機能の up-regulation

獨協医科大学 越谷病院 耳鼻咽喉科¹、はりま坂耳鼻咽喉科・アレルギー科²

○三輪 正人¹⁾、岩崎 洋子¹⁾、中島 規幸¹⁾、廣瀬 壮¹⁾、阿部 実恵子¹⁾、狩野 信和¹⁾、
山口 晋太郎¹⁾、三輪 真由美²⁾、渡辺 建介¹⁾

101. 鼻茸分離細胞の真菌抗原への反応性とその臨床的意義

住友別子病院¹、岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学²、
高知医療センター 耳鼻咽喉科³、国立病院機構 福山医療センター 耳鼻咽喉科⁴
○春名 威範¹、岡野 光博²、假谷 伸²、山本 美紀³、檜垣 貴哉²、牧原 靖一郎^{2,4}、
西崎 和則²

第6会場

第26群 嗅覚基礎

17:20~18:20

座長：平川 勝洋（広島大）

渡辺 建介（獨協越谷）

102. ラット前嗅核ニューロンの層特異的な応答特性

東京大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、東京大学 医学部 細胞分子生理²
○菊田 周¹、柏谷 英樹²、森 憲作²

103. G-CSF を用いた嗅上皮傷害時における骨髓細胞の取り込み率の検討

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉科¹、岡山済生会総合病院 耳鼻咽喉科²
○吉延 潤子¹、折田 頼尚²、西崎 和則¹

104. 嗅粘膜における性ホルモン受容体の発現と分布に関する免疫組織学的検討

東京大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学教室¹、東京都立府中病院 耳鼻咽喉科²
○近藤 健二¹、鈴川 佳吾¹、金谷 佳織¹、坂本 幸士¹、渡辺 健太²、山嵜 達也¹

105. 嗅球除去後早期におけるマウス嗅上皮支持細胞の形態学的変化

自治医科大学 耳鼻咽喉科¹、自治医科大学 解剖学²、東京都神経科学総合研究所³
○牧野 伸子¹、大河原 重雄²、太田 康¹、石川 敏夫¹、斎藤 知寿¹、加藤 一夫²、
市川 眞澄³、市村 恵一¹

106. 嗅上皮傷害モデルマウスにおける嗅上皮再生に及ぼす加齢の影響—非傷害動物の細胞動態との比較—

東京大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、都立府中病院 耳鼻咽喉科²
○鈴川 佳吾¹、近藤 健二¹、坂本 幸士¹、渡辺 健太²、山嵜 達也¹

107. タリウム-201嗅神経シンチグラフィ臨床応用の予備研究

金沢大学 医学系研究科 脳医科学 感覚運動病態学¹、
金沢大学 医学系研究科 保健学 先端医療技術学²、金沢大学³
○志賀 英明¹、鷺山 幸信²、広田 京子¹、土田 明日香¹、天野 良平²、三輪 高喜¹、
古川 仞³

第 6 会場

第27群 症例

18:20~18:50

座長：出島 健司（京都第二赤十字）

1 0 8. IgG 4 関連疾患としての鼻腔病変について

北海道大学 大学院 医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野

○水町 貴論、前田 昌紀、中丸 裕爾、福田 諭

1 0 9. 診断と治療に苦慮した Wegener 肉芽腫症の一例

熊本大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○西本 康兵、東家 完、讃岐 徹治、湯本 英二

1 1 0. 副鼻腔炎および咽頭に肉芽組織を生じた好酸球性白血病の 1 症例

山梨大学大学院 医学工学総合研究部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○山本 卓典、上條 篤、森山 元大、初鹿 恭介、増山 敬祐

《 9 月 27 日（土）》

第 1 会場

第28群 嗅覚臨床Ⅲ

9:00~9:40

座長：原淵 保明（旭川医大）

1 1 1. 当科における嗅覚障害患者の臨床的検討

滋賀医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

○中嶋 大介、瀬野 悟史、柴山 将之、清水 猛史

1 1 2. 嗅覚障害発症の背景因子に関する疫学的検討

東京大学医学部附属病院

○遠藤 麻世、金谷 佳織、鈴川 圭吾、吉田 剛、近藤 健二、山嵜 達也

1 1 3. 外傷性嗅覚障害例の臨床的統計

三重大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

○西田 幸平、小林 正佳、荻原 仁美、北野 雅子

1 1 4. 当科における嗅裂炎による嗅覚障害症例について

昭和大学 医学部 耳鼻咽喉科

○内田 淳、古田 厚子、洲崎 春海

第2会場

第29群 手術Ⅱ

9:00～9:30

座長：鮫島 靖浩（熊本大）

115. 内視鏡下両側経鼻腔法により摘出した上咽頭カルチノイドの一症例

熊本大学 耳鼻咽喉科 頭頸部外科

○讃岐 徹治、湯本 英二、西本 康平

116. 前頭蓋底腫瘍に対する内視鏡下鼻内手術

京都大学 医学研究科 耳鼻咽喉科頭頸部外科¹、大分大学 医学部 耳鼻咽喉科²

○中川 隆之¹、児玉 悟²、鈴木 正志²、伊藤 壽一¹

117. 前頭蓋底悪性腫瘍に対する経鼻内視鏡下切除術

順天堂大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室

○池田 勝久、八尾 亨、伊藤 伸、斉藤 達矢、大峽 慎一、楠 威志

第2会場

第30群 手術Ⅲ

9:30～10:30

座長：細井 裕司（奈良県立医大）

高橋 姿（新潟大）

118. ナビゲーションシステムを利用した鼻副鼻腔隣接部位へのアプローチの経験

神戸大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○土井 清司、丹生 健一

119. 当科における鼻副鼻腔内視鏡手術ナビゲーションシステムの使用経験

日本赤十字社和歌山医療センター 耳鼻咽喉科¹、NPO 日本健康増進支援機構²

○山西 美映¹、池田 浩己¹、芝埜 彰¹、竹林 慎治¹、三浦 誠¹、榎本 雅夫²

120. 後鼻神経切断術におけるナビゲーションシステムの有用性の検討

産業医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

○柴田 美雅、上田 成久、北村 拓朗、宇高 毅、塩盛 輝夫、平木 信明、
寶地 信介、若杉 哲郎、鈴木 秀明

121. PVDF フィルムを用いた内視鏡下副鼻腔手術における眼球動作の計測

順天堂大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室

○峯川 明、池田 勝久

1 2 2. 鼻内前頭洞手術症例の検討

北里大学 医学部 耳鼻咽喉科

○鈴木 立俊、林 政一、松葉 宏樹、山口 知子、横堀 学、岡本 牧人

1 2 3. 難治性前頭洞病変に対する手術法の検討

順天堂大学 耳鼻咽喉 頭頸科

○本間 博友、楠 威志、八尾 亨、齊藤 達矢、川野 健二、池田 勝久

第3会場

第31群 鼻副鼻腔臨床Ⅱ

9:00~9:40

座長：鈴木 正志（大分大）

1 2 4. 急性副鼻腔炎に対する AMPC と LVFX との有効性の比較

埼玉医科大学 耳鼻咽喉科¹、東京警察病院 耳鼻咽喉科²、ARhiS Group³

○善浪 弘善^{1,3)}、高橋 壽彦¹⁾、仲田 拓人¹⁾、和田 伊佐雄¹⁾、柴崎 修¹⁾、中嶋 正人¹⁾、
加瀬 康弘¹⁾、篠上 雅信^{2,3)}

1 2 5. 急性副鼻腔炎サーベイランスにおけるスコアリング・システムを用いた臨床学的検討

和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○池田 頼彦、保富 宗城、島田 純、竹井 慎、小上 真史、河野 正充、
鈴木 正樹、田村 真司、藤原 啓次、山中 昇

1 2 6. 急性副鼻腔炎におけるウイルス感染の検討

和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科

○Beder Levent、小上 真史、保富 宗城、池田 頼彦、竹井 慎、島田 純、
田村 真司、藤原 啓次、山中 昇

1 2 7. 急性副鼻腔炎の細菌学的サーベイランス

和歌山県立医科大学

○竹井 慎、保富 宗城、池田 頼彦、小上 真史、河野 正充、鈴木 正樹、
田村 真司、藤原 啓次、山中 昇

第3会場

第32群 鼻副鼻腔臨床Ⅲ

9:40~10:20

座長：飯野 ゆき子（自治さいたま）

1 2 8. 小児に対する鼻内内視鏡手術の経験

福井県済生会病院 耳鼻咽喉科¹、金沢大学耳鼻咽喉科²

○堀川 利之¹⁾、三輪 高喜²⁾、古川 亅²⁾

1 2 9. 小児副鼻腔炎に対する超音波検査—ティッシュハーモニックイメージングの試み—

深見耳鼻咽喉科

○深見 雅也

1 3 0. 小児鼻副鼻腔炎のスコアリングと治療実態

千葉県立衛生短期大学 栄養学科¹、杉田耳鼻咽喉科医院（千葉県茂原市）²

○工藤 典代¹、杉田 佳信²

1 3 1. コーンビーム CT による小児副鼻腔炎の迅速なスコア化

東京都

○足川 哲夫

第4会場

第33群 良性腫瘍Ⅱ

9:00~9:40

座長：山下 裕司（山口大）

1 3 2. 当科における鼻副鼻腔乳頭腫症例の検討

藤田保健衛生大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室

○岡田 達佳、清水 雅子、寺島 万成、三村 英也、小串 善生、吉岡 哲志、
伊藤 周史、岩田 義弘、櫻井 一生、内藤 健晴

1 3 3. 鼻副鼻腔内反性乳頭腫の検討

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

○吉野 和美、小林 祐希、石井 秀幸、片山 昭公、高原 幹、國部 勇、
片田 彰博、坂東 伸幸、林 達哉、原 保明

1 3 4. 内視鏡下鼻副鼻腔内反性乳頭腫手術における上顎洞前壁の処理—対側鼻腔からのアプローチ法—

北海道大学大学院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野¹、手稲溪仁会病院²

○中丸 裕爾¹、古田 康²、原 敏浩¹、水町 貴論¹、福田 諭¹

1 3 5. 蝶形骨洞原発の内反性乳頭腫の1症例

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学¹、香川県立中央病院 耳鼻咽喉科²

○野山 和廉¹、岡野 光博¹、赤木 祐介¹、岡部 洋平²、假谷 伸¹、平井 美沙都¹、
西崎 和則¹

第4会場

第34群 良性腫瘍Ⅲ

9:40~10:30

座長：久 育男（京都府医大）

平林 秀樹（獨協医大）

136. 鼻内から摘出し得た若年性鼻咽腔血管線維腫の1例

関西医科大学 耳鼻咽喉科¹、済生会野江病院耳鼻咽喉科²

○鈴木 健介¹、泉川 雅彦¹、河本 光平²、朝子 幹也¹

137. 鼻内から摘出した若年性血管線維腫の一例

日本赤十字社¹、NPO 日本健康増進支援機構²

○池田 浩己¹、山西 美映¹、芝埜 彰¹、竹林 慎治¹、三浦 誠¹、榎本 雅夫²

138. 鼻腔血管腫に対する術前血管塞栓療法の有効性について

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科¹、鹿児島県立大島病院耳鼻咽喉科²

○吉福 孝介¹、永野 広海²、原田 みずえ¹、黒野 祐一¹

139. 鼻腔血管平滑筋腫症例の検討―術前画像検査と病理組織学的所見との対比

九州労災病院 耳鼻咽喉科¹、産業医科大学 耳鼻咽喉科²、熊本労災病院 耳鼻咽喉科³、
北九州総合病院 耳鼻咽喉科⁴

○宇高 毅¹、平木 信明²、因幡 剛¹、門川 洋平¹、塩盛 輝夫³、上田 成久⁴、
鈴木 秀明²

140. 鼻腔に発生した血管平滑筋腫の2例

鳥取大学 医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

○中村 陽祐、竹内 裕美、森實 理恵、長谷川 勇二、北野 博也

第5会場

第35群 鼻アレルギー臨床Ⅵ

9:00~9:40

座長：久松 建一（久松耳鼻咽喉科）

141. 携帯型ネブライザー装置による花粉症治療の試み

東邦大学 医学部 第2耳鼻咽喉科

○大久保 はるか、大木 幹文、山口 宗太、石井 祥子、櫻井 秀一郎、大越 俊夫

142. NBIによる鼻粘膜所見について（アレルギー性鼻炎と血管運動性鼻炎）

東京女子医科大学附属八千代医療センター

○高野 信也、森川 敬之

1 4 3. 鼻炎症状と気管支喘息症状の連関についてのアンケート調査

埼玉医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

○仲田 拓人、加瀬 康弘

1 4 4. 鼻閉、睡眠呼吸障害、日中傾眠および QOL の関係について

—アレルギー性鼻炎との関連について—

産業医科大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、九州労災病院耳鼻咽喉科²、熊本労災病院耳鼻咽喉科³

○平木 信明¹、宇高 毅²、門川 洋平²、因幡 剛²、塩盛 輝夫³、鈴木 秀明¹

第5会場

第36群 鼻アレルギー基礎Ⅲ

9:40~10:40

座長：白崎 英明（札幌医大）

寺田 修久（E.N.T アライアンス）

1 4 5. アレルギー性鼻炎モデルマウスにおける IL-16の変動および薬剤投与効果の検討

香川大学 医学部 耳鼻咽喉科教室

○松原 あい、秋山 貢佐、唐木 将行、森 望

1 4 6. ロイコトリエン受容体拮抗薬の TDI によるラット鼻粘膜 H1 受容体 up-regulation に対する効果

徳島大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科¹、徳島大学 薬学部 分子薬物学²

○黒田 若奈¹、北村 嘉章¹、福井 裕行²、武田 憲昭¹

1 4 7. 塩酸エピナスチンの好酸球活性化抑制作用

昭和大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、昭和大学 保健医療学部 生理学研究室²

○望月 優一郎¹、古田 厚子¹、古矢 彩子¹、金井 憲一¹、浅野 和仁²、洲崎 春海¹

1 4 8. Calu-3 細胞におけるケルセチンの経上皮イオン輸送に対する作用

綾部市立病院 耳鼻咽喉科¹、京都府立医科大学大学院 細胞生理学²、

京都府立医科大学大学院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野³

○浅野 純志¹、新里 直美²、丸中 良典²、安田 誠³、浜 雄光³、久 育男³

1 4 9. Expression of Transient receptor potential Vallinoid family 1, 2, 3
and 4 in mouse olfactory epithelium

広島大学 耳鼻咽喉科 頭頸部外科学 教室

○モハメド カーリファ、石橋 卓弥、濱本 隆夫、立川 隆治、平川 勝洋

1 5 0. プロバイオティクスの末梢血単核細胞に対する作用の網羅的解析と免疫制御機構の機能解析

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

○檜垣 貴哉、岡野 光博、假谷 伸、西崎 和則

第 6 会場

第37群 鼻腔通気

9:00~9:40

座長：戸川 清（本荘第一病院）

1 5 1. 鼻腔通気度と睡眠時無呼吸症候群の関係

名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学講座耳鼻咽喉科学

○多賀谷 満彦、中田 誠一、寺西 正明、中島 務

1 5 2. 喉頭摘出手術後症例における副鼻腔への気流の影響

昭和大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室

○古田 厚子、金井 憲一、洲崎 春海

1 5 3. 小児における鼻腔通気性の客観的評価

鳥取大学 医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

○森實 理恵、竹内 裕美、樋上 茂、鈴木 千夏、北野 博也

1 5 4. Acoustic rhinometry を用いた学童における鼻腔開存度の検討

三重大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

○宮本 由起子、竹内 万彦

第 6 会場

第38群 睡眠時無呼吸

9:40~10:20

座長：中山 明峰（名古屋市大）

1 5 5. 睡眠時無呼吸症候群に対する下鼻甲介粘膜焼灼術の有効性の検討

綾川町国民健康保険陶病院 睡眠呼吸障害センター¹、綾川町国民健康保険陶病院 耳鼻咽喉科²、

香川大学 医学部 耳鼻咽喉科³、滋賀医科大学 睡眠学講座⁴、内海病院 耳鼻咽喉科⁵

○小林 隆一^{1,2,3)}、宮崎 総一郎⁴⁾、唐木 将行³⁾、小林 英治^{3,5)}、秋山 貢佐³⁾、石井 玄吾³⁾、

松原 あい³⁾、森 望³⁾

1 5 6. いびき・睡眠時呼吸障害治療における鼻腔整形術の意義

日本大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野¹、土浦いびき・睡眠時呼吸障害センター²

○久松 建一¹⁾、工藤 逸大¹⁾、咲間 奈央¹⁾、勝見 彰子¹⁾、牧山 清¹⁾、池田 篤生¹⁾

1 5 7. 鼻手術の OSAHS 治療に対する効果

藤田保健衛生大学第二教育病院 耳鼻咽喉科

○西村 洋一、北中 隆広、鈴木 賢二

158. 当院における PSG 症例の検討

藤田保健衛生大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室

○木原 彩子、清水 雅子、長島 圭士郎、三村 英也、吉岡 哲志、堀部 智子、
堀部 晴司、櫻井 一生、内藤 健晴

第1会場

第39群 鼻アレルギー臨床Ⅶ

14:50~15:40

座長：花澤 豊行（千葉大）

原田 保（川崎医大）

159. カモガヤ花粉アレルギー感作率推移と年齢

東海花粉症研究所¹、うさみクリニック²、NPO 花粉情報協会³

○宇佐神 篤¹⁾

160. 当科アレルギー外来における20年間のイネ科感作例の検討

NHO 三重中央医療センター 耳鼻咽喉科

○伊藤 由紀子、服部 玲子

161. 福岡県3施設における RIST および RAST 検査結果（2007年度）

福岡歯科大 耳鼻咽喉科¹、坂口耳鼻咽喉科²

○原田 博文¹⁾、松井 郁¹⁾、今村 明秀¹⁾、坂口 伸治²⁾

162. 大阪府におけるアレルギーを有する児童生徒の実態調査—アレルギー性鼻炎を中心に—

大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻

○竹内 紀子、伊藤 真貴、荻野 敏

163. アレルギー性鼻炎の小児を対象にした鼻噴霧用薬に関する実態調査

千葉県立衛生短期大学 栄養学科¹、自治医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座²

○工藤 典代¹⁾、市村 恵^{—2)}

第1会場

第40群 鼻アレルギー臨床Ⅷ

15:40~16:20

座長：伊藤 由紀子（三重中央医療センター）

164. 下鼻甲介手術症例の術前と術後の検討

兵庫医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

○都築 建三、竹林 宏記、岡 秀樹、阪上 雅史

1 6 5. アレルギー性鼻炎へのラジオ波凝固治療

いしべ耳鼻咽喉科

○石部 司、堤 俊之

1 6 6. 重症鼻アレルギー患者に対する CO₂ レーザー療法の長期成績の検討

広島大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○呉 奎真、石野 岳志、立川 隆治、竹野 幸夫、平川 勝洋

1 6 7. 後鼻神経切断術のアレルギー性鼻炎に対する効果の検討

愛媛県立中央病院 耳鼻咽喉科

○小林 泰輔、中村 光士郎

第2会場

第41群 手術Ⅳ

14:50~15:40

座長：庄司 和彦（天理よろづ相談所病院）

河田 了（大阪医大）

1 6 8. フリーウェアソフトを用いた前頭洞周囲の解剖学的測定

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 展開医療科学 耳鼻咽喉科頭頸部外科分野

○高崎 賢治、江夏 薫、梅木 寛、渡邊 毅、隈上 秀高、高橋 晴雄

1 6 9. 当院における副鼻腔炎に対する one day surgery の検討

川村耳鼻咽喉科クリニック¹、おくだクリニック²

○川村 繁樹¹、伊藤 勝也¹、奥田 平治²

1 7 0. 全麻による日帰り手術システムを導入した耳鼻科オフィスサージェリーの試み

耳鼻咽喉科サージセンター名古屋¹、杏林大学医学部付属病院耳鼻咽喉科・頭頸科²

○吉井 徹哉¹、加藤 敦子¹、金谷 毅夫²、黄川田 徹¹

1 7 1. 鼻中隔矯正術における手技等の工夫

西山耳鼻咽喉科医院¹、神奈川歯科大学臨床医科学系耳鼻咽喉科学講座²、大和徳洲会病院耳鼻咽喉科³、

山本耳鼻咽喉科⁴、井口耳鼻咽喉科⁵

○西山 耕一郎¹、栗原 里佳²、臼井 大祐²、佐藤 賢太郎²、望月 幸子³、望月 高行³、

山本 一博⁴、井口 芳明⁵

1 7 2. 前頭洞手術における小児用 nasal airway の使用経験

群馬大学大学院 医学系研究科 聴平衡覚外科学

○工藤 毅、鎌田 英男、島田 哲明、安岡 義人、古屋 信彦

第2会場

第42群 鼻副鼻腔臨床Ⅳ

15:40~16:20

座長：湯田 厚司（三重大）

173. 鼻性頭蓋内合併症の2症例

山梨大学 大学院医学工学総合研究部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○初鹿 恭介、上條 篤、高橋 吾郎、増山 敬祐

174. 鼻性視神経炎の2症例

国立病院機構 災害医療センター 耳鼻咽喉科

○馬場 信太郎、中原 はるか

175. DIC の状況下で緊急 ESS を施行した鼻性頭蓋内合併症の2症例

京都第二赤十字病院 耳鼻咽喉科

○出島 健司

176. 視力障害を伴う副鼻腔疾患の検討

新潟大学 医学部 耳鼻咽喉科

○石岡 孝二郎、橋本 茂久、佐藤 裕子、大野 雅昭、高橋 邦行、野村 智幸、
高橋 姿

第3会場

第43群 鼻副鼻腔臨床Ⅴ

14:50~15:40

座長：大越 俊夫（東邦大 大橋病院）

西崎 和則（岡山大）

177. 保存的治療で改善しなかった慢性副鼻腔炎の検討

新潟大学 医学部 耳鼻咽喉科

○野村 智幸、橋本 茂久、石岡 孝二郎、佐藤 裕子、大野 雅昭、高橋 邦行、
高橋 姿

178. 慢性副鼻腔炎 QOL SNOT-20（20-Item Sino-Nasal Outcome Test）

日本語版の信頼性・妥当性の検証

市立伊勢総合病院¹、鹿児島大学²、広島大学³、昭和大学⁴、獨協医科大学⁵、島根大学⁶、自治医科大学⁷、
東京慈恵会医科大学⁸

○間島 雄一¹、黒野 祐一²、平川 勝洋³、洲崎 春海⁴、春名 眞一⁵、川内 秀之⁶、
市村 恵一⁷、森山 寛⁸

179. 慢性副鼻腔炎手術後に再手術を必要とした症例の検討

昭和大学藤が丘病院 耳鼻咽喉科¹、昭和大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室²

○寺尾 元¹、嶋根 俊和¹、三邊 武幸¹、洲崎 春海²

180. 慢性副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻内手術の前向き研究—難治に関わる要因についての検討—

太田総合病院¹、東京慈恵会医科大学付属病院²

○森 恵莉¹⁾、千葉 伸太郎¹⁾、木村 暁弘¹⁾、大橋 正嗣¹⁾、太田 史一¹⁾、太田 正治¹⁾、
大櫛 哲史²⁾、松脇 由典²⁾、遠藤 誠²⁾、森山 寛²⁾

181. 慢性副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻内手術後の残存篩骨蜂巣と術後経過への影響についての検討

東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科教室¹、太田総合病院 耳鼻咽喉科²

○大櫛 哲史¹⁾、松脇 由典¹⁾、森 恵莉²⁾、千葉 伸太郎²⁾、鴻 信義¹⁾、森山 寛¹⁾

第3会場

第44群 症例など

15:40~16:20

座長：土師 知行（倉敷中央病院）

182. 慢性副鼻腔炎治療後に発症した Churg–strauss 症候群の1例

九州労災病院 耳鼻咽喉科¹、産業医科大学 耳鼻咽喉科²、熊本労災病院 耳鼻咽喉科³、
北九州総合病院 耳鼻咽喉科⁴

○因幡 剛¹⁾、宇高 毅¹⁾、平木 信明²⁾、門川 洋平¹⁾、塩盛 輝夫³⁾、上田 成久⁴⁾、
鈴木 秀明²⁾

183. 上顎骨 brown tumor を合併した原発性副甲状腺機能亢進症の1例

産業医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

○若杉 哲郎、平木 信明、柴田 美雅、鈴木 秀明

184. 耳鼻咽喉科処置用スプレー使用時の自覚症状についての検討

鷹の子病院 耳鼻咽喉科¹、兵庫医科大学 耳鼻咽喉科²

○樫葉 恵子¹⁾、貞本 昌規¹⁾、阪上 雅史²⁾

185. 鼻内法で鼻涙管を遊離し上顎洞内側壁を大きく開放した一例

中部労災病院 耳鼻咽喉科

○池田 篤彦、加藤 正大、鈴木 宏和、秋田 学、正木 道熹

第4会場

第45群 血瘤腫

14:50~15:50

座長：岡本 牧人（北里大）

中島 務（名古屋大）

186. 上顎洞血瘤腫の5例

順天堂大学医学部付属浦安病院¹、順天堂大学耳鼻咽喉頭頸科²

○横井 秀格¹⁾、松本 文彦²⁾、伊藤 伸²⁾、斎藤 達矢²⁾、春山 琢男²⁾、大峽 慎一²⁾、
池田 勝久²⁾

1 8 7. 上顎洞血瘤腫の4症例

山田赤十字病院 耳鼻咽喉科・気管食道科

○宮村 朋孝、福家 智仁、富岡 利文、福喜多 晃平、山田 弘之

1 8 8. 上顎洞血瘤腫症例の検討

藤田保健衛生大学 医学部 耳鼻咽喉科

○服部 忠夫、木原 彩子、寺島 万成、長島 圭士郎、小串 善生、伊藤 周史、
堀部 智子、堀部 晴司、岡田 達佳、岩田 義弘、桜井 一生、内藤 健晴

1 8 9. 鼻副鼻腔血瘤腫の2症例

山形大学医学部 情報構造統御学講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野

○太田 伸男、青柳 優

1 9 0. 特発性血小板減少性紫斑病に合併した上顎洞血瘤腫の一例

宮崎大学 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科

○土屋 克之、外山 勝浩、南 慎一、東野 哲也

1 9 1. 前頭洞に発生した血瘤腫の一例

山口大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野

○堀 健志、御厨 剛史、橋本 誠、綿貫 浩一、菅原 一真、山下 裕司

第4会場

第46群 手術V

15:50~16:20

座長：宇佐美 真一（信州大）

1 9 2. 当科における内視鏡下鼻内涙嚢鼻腔吻合術についての検討

日本赤十字社長崎原爆病院 耳鼻咽喉科¹、

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 展開医療科学講座 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野²、

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 展開医療科学講座 眼科・視覚科学分野³

○江夏 薫^{1,2)}、高崎 賢治²⁾、梅木 寛²⁾、渡邊 毅²⁾、隈上 武志³⁾、隈上 秀高²⁾、
高橋 晴雄²⁾

1 9 3. 眼窩骨膜下膿瘍に対して内視鏡下鼻副鼻腔手術を施行した2症例

東京都立府中病院 耳鼻咽喉科

○白石 藍子、中屋 宗雄、渡辺 健太、阿倍 和也

1 9 4. 放射線治療後の髄液漏、気脳症に対し内視鏡下閉鎖術が奏効した hemangiopericytoma の一例

東京医科歯科大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、東京医科歯科大学 医学部 頭頸部外科²、

東京医科歯科大学 医学部 脳神経外科³

○角田 篤信¹⁾、岸本 誠司²⁾、玉置 正史³⁾、青柳 傑³⁾

第5会場

第47群 良性腫瘍Ⅳ

14:50~15:40

座長：家根 旦有（奈良県立医大）

望月 高行（大和徳洲会病院）

195. 鼻涙管から発生した Solitary fibrous tumor の一例

岩手医科大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、京都大学 医学部 耳鼻咽喉科²

○桑島 秀¹、佐藤 宏昭¹、石島 健¹、西村 幸司²

196. 鼻腔内に発生した孤立性線維性腫瘍（Solitary fibrous tumor）の1例

金沢大学 医学部 耳鼻咽喉科

○広田 京子、達富 真司、志賀 英明、三輪 高喜

197. 蝶形骨洞に発生した孤立性線維性腫瘍の一例

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 展開医療科学 耳鼻咽喉科頭頸部外科分野

○渡邊 毅、江夏 薫、梅木 寛、高崎 賢治、高橋 晴雄

198. 鼻副鼻腔 Psammomatoid ossifying fibroma の一症例

山口大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野

○橋本 誠、御厨 剛史、金川 英寿、菅原 一真、綿貫 浩一、山下 裕司

199. 鼻副鼻腔神経鞘腫の1例

京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室¹、綾部市立病院 耳鼻咽喉科²

○安田 誠¹、大村 学¹、浅野 純志^{1,2}、浜 雄光¹、久 育男¹

第5会場

第48群 悪性腫瘍Ⅴ

15:40~16:20

座長：小川 徹也（愛知医大）

200. 鼻腔原発 malignant peripheral nerve sheath tumor の1例

川崎医科大学

○秋定 健、森 幸威、福辻 賢治、原田 保

201. 鼻腔悪性神経鞘腫の一例

大阪医科大学耳鼻咽喉科¹、大阪府済生会吹田病院耳鼻咽喉科²

○櫛原 崇宏¹、荒木 倫利¹、高巻 京子¹、乾 崇樹¹、吉村 勝弘¹、東川 雅彦²、
竹中 洋¹

202. 上顎洞原発小児横紋筋肉腫の1例

島根大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、島根大学 医学部 小児科²

○青井 典明¹、片岡 真吾¹、木村 光宏¹、竹谷 健²、山口 清次²、川内 秀之¹

203. 鼻腔横紋筋肉腫の一例

福島県立医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

○三浦 智広、多田 靖宏、松塚 崇、谷 亜希子、大森 孝一

第6会場

第49群 鼻出血

14:50~15:30

座長：伊藤 八次（岐阜大）

204. 反復する鼻出血を機に発見された内頸動脈瘤増大症例

松江赤十字病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科

○小谷 宏子、武田 真紀子、松田 英賢、伊藤 和行

205. 当科における鼻出血症例の検討

福岡大学 医学部 耳鼻咽喉科

○村上 一索、福岡 勉、坂田 俊文、中川 尚志

206. 鼻出血に対する NBI 内視鏡の有用性について

市立枚方市民病院 耳鼻咽喉科

○伊藤 尚、但吉 民江

207. 難治性鼻出血に対する塞栓術の臨床統計学的検討

川崎医科大学 耳鼻咽喉科¹、大阪大学 感覚器外科学耳鼻咽喉科²

○福辻 賢治¹、栗飯原 輝人¹、秋定 健¹、原田 保¹、西池 季隆²

第6会場

第50群 後鼻孔閉鎖など

15:30~16:20

座長：峯田 周幸（浜松医大）

水田 啓介（岐阜大）

208. 後鼻孔閉鎖・狭窄症7例の検討

東京大学 医学部 耳鼻咽喉科¹、都立府中病院 耳鼻咽喉科²、砂町耳鼻咽喉科³

○金谷 佳織¹、吉田 剛¹、鈴川 佳吾¹、遠藤 麻世¹、中屋 宗雄²、近藤 健二¹、
竹内 直信³、山嵜 達也¹

209. 後鼻孔狭窄に対する治療経験

岐阜大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科

○横山 善至、青木 香織、山田 南星、水田 啓介、伊藤 八次

210. 成人一側性後鼻孔閉鎖症例に対する手術工夫

浜松医科大学 耳鼻咽喉科

○竹下 有、橋本 泰幸、峯田 周幸

2 1 1. ヘルペス性鼻中隔炎の1 症例

北海道大学病院 耳鼻咽喉科

○原 敏浩、中丸 裕爾、福田 諭

2 1 2. ハサミによる顔面外傷の一例

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科¹、北見赤十字病院 耳鼻咽喉科²、

旭川赤十字病院 耳鼻咽喉科³、錦町おおしま耳鼻咽喉科⁴

○長門 利純^{1,2)}、藤田 豪紀³⁾、大島 収⁴⁾、原渕 保明¹⁾